



= あいさつ =

北部市民サービスセンター
所長 千葉孝之

今年4月に北部市民サービスセンターに赴任しました、千葉孝之と申します。

日頃より、地域の皆様には当センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

また、当センターは開館から8年目を迎えましたが、開館以来、管理運営をお願いしてきております北部地域住民自治協議会の皆様の多大なるご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、心より敬意を表します。

さて、本市では、ここキタスカをはじめ、市内7カ所に市民サービスセンターを設置し、各サービスセンターごとに様々な地域の課題に迅速に対処するとともに、市民参加と協働による地域の特色あるまちづくりを推進するなど、公共サービスの向上に取り組んでいるところでございます。

土崎地区には今年3月、ユネスコ無形文化遺産に登録された土崎神明社祭の曳山行事や土崎空襲で被爆した倉庫の一部を展示した「土崎みなと歴史伝承館」がオープンし、半年余りの間に3万人を超える来館者を数えました。土崎みなと街づくり協議会の皆様に管理運営していただき、館内の見学だけでなく、港まつりのお囃子や踊りの練習、被爆体験の伝承活動など、港の歴史と文化を継承する人づくり、にぎわいづくりの施設として、多くの方々にご利用いただいております。

より一層の地域の発展、にぎわいづくりのため、引き続き地域の皆様にご協力いただきながら、微力ですが、少しでもお役に立てるよう努めてまいりますので、今後ともよろしく願いたします。

平成30年度 北部地域住民自治協議会 総会

平成30年5月16日(水)に開催された北部地域住民自治協議会の総会では、下記の議案について審議され、各議案とも承認されました。

- (1) 平成29年度 事業報告について
- (2) 平成29年度 収支決算・特別会計について
- (3) 平成29年度 監査報告について
- (4) 平成30年度 事業計画(案)について
- (5) 平成30年度 収支予算・特別会計(案)について



平成29年度 施設利用状況 (平成29年4月1日～ 平成30年3月31日)

利用者総数：134,928名

内訳

地域文化ホール利用：22,160名

展示ホール利用：28,406名

部屋利用：45,939名

体育館利用：38,423名

1日平均 **288名**の皆様に
ご利用いただきました。

Thank you



第8回 キタスカまつり開催!

9月29日(土)~30日(日)の2日間

延べ来館者数 **2,263名**

体育館内のイベント



◆ 作品展示 ◆

地域の方々や、キタスカで活動中のサークルのみなさんの力作が展示されました。



◆ 北部地域特産物直売 ◆

新米・野菜・果物・お惣菜の他手作り工芸品などが販売され、多くの方にお買い求めいただきました。



◆ コットンボールづくり ◆

老若男女問わずたくさんの方が、思い思いのコットンボールを作っていました。

◆ 健康相談 ◆

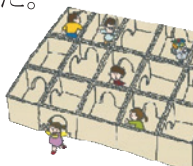
看護師による血圧測定や、薬の相談などが行われました。



◆ ダンボール迷路 ◆



たくさんの子どもたちが挑戦し、迷いながらもゴールをめざしました。



男鹿の松田せい子

～音楽と笑いは
地球を救う～

ユニークな名前で各地の「道の駅」でシンセサイザー生演奏をしてお客さんを楽しませている【男鹿の松田せい子さん】

今回はキタスカまつりで聴衆を魅了しました。

名前のエピソードや、シンセサイザーを始めたきっかけなどを話され、笑いのあるトークからそれぞれに因んだ演奏を十数曲披露しました。

最後に「みんなで歌おうコーナー」では6曲を参加者みんなでシンセサイザーに合わせて歌い楽しいひと時を過ごしました。



◆ 大道芸オンステージ ◆

バランスジャグリング、変面、ピエロによるパントマイム、ナフラオケマカニオルのフラダンスが行われ、子どもから大人まで大いに盛り上がりおりました。



◆ 芸能発表会 ◆

今年もたくさんのサークルや、地域のみなさんが出演し、会場からは大きな拍手や歓声があがっておりました。

各部屋のイベント



◆ フリーマーケット ◆

1日目は好天に恵まれたたくさんの方が足を運び、買い求めておりました。
2日目は荒天のため中止となりました。

◆ 健康ミニ講座 ◆

骨密度測定後、健康に関するミニ講座が開催され、自分の健康管理に役立てていました。



◆ お茶会(裏千家) ◆

毎年大好評のお茶会には、今年もたくさんの方々にお立ち寄りいただきました。

地域の おすすめスポット

第5回 外旭川地区



【外旭川の豊かな水田地帯】

— 外旭川の田地を潤す「穴堰」 —

あなげき

外旭川地区振興会
副会長兼事務局長 山本 喜昭

外旭川地域は、古くから農業地帯であった。最近宅地化が進み、現在33町内会4,000世帯約1万3千人が生活している。

爽やかな秋風に、今年も我が地域の水田一帯に実った黄金色の稲穂が揺れている。

地域に大きな河川がないにもかかわらず外旭川地域が豊かな水田になっているのは、草生津川と大排水溝と「穴堰」という水路の存在が非常に大きい。（「穴堰」とは山に隧道を掘って水路を築造したもの）

「穴堰」は先人たちが苦労して旭川の豊富な水量を、濁川地域から鬼越峠に地下水路を掘削したのである。完成後もたびたび穴の崩落が発生するなどしていたが地域の住人はその都度、水路の維持に何度も努め水量の確保をしてきた。

現在の穴堰は1937年（昭和12年）に改修され、その後近くに介護老人保健施設「千秋苑」が開設、また、県道秋田昭和線（通称 横山金足線）が開通し、その歩道脇に穴堰がある。介護老人保健施設「千秋苑」の東側には円形分水工があり、そこから北側は山際を通り笹岡地域周辺、南側は外旭川中学校周辺の水田を潤している。受益面積はおおよそ674ヘクタールの広範に渡って、外旭川地域の4分の3の水田を潤している。



【円形分水工】

この「穴堰」は地域発展の源となっており、代々受け継いで行かなければならない大切な水路である。現在外旭川小学校の「郷土探訪学習」で地域の方を講師として招き、先人が築きあげた歴史や思いを学んでいる。

併せて私たち住人も、穴堰の周囲を清潔に守り続けて行くべきだろうと思う。

尚、「泉・外旭川新駅」（仮称）が設置の見込みとなり、大型複合施設が誕生すると益々地域及び北部全体発展に寄与するものと期待している所である。



【穴堰記念標柱】